

JACS NEWSLETTER

日本消費者行動研究学会ニューズレター

第25巻第3号

発行日●2017年9月14日

発行●日本消費者行動研究学会事務局

第55回 消費者行動研究コンファレンスの概要

<統一論題>

コミュニケーション・テクノロジーの変化と消費者行動

秋の消費者行動研究コンファレンスの開催日程が決定しましたので、ご案内いたします。
第1日目には、JACS論文プロポーザル賞、統一論題、会員総会、懇親会を予定しています。
第2日目には、自由論題報告、公募シンポジウムを予定しています。

－開催概要－

開催日程： 2017年10月21日（土）・22日（日）
会場： 立命館大学 大阪いばらきキャンパス（大阪府茨木市）
研究会参加費： 4,000円〔学生：2,000円〕
※非会員の学生は、会場受付にて学生証の提示が必要になります。
懇親会参加費： 5,000円
参加申込： JACS Webサイト(<http://www.jacs.gr.jp/>)、FAXで受け付けております。
参加申込締切： 10月6日（金）必着

〔第1日目〕

9:50 - 10:00 開会の辞
10:00 - 11:30 プロポーザル賞
11:30 - 13:00 昼食休憩（役員会）
13:00 - 16:30 統一論題
16:30 - 16:45 休憩
16:45 - 17:30 会員総会
17:30 - 18:15 選挙
18:30 - 20:00 懇親会

〔第2日目〕

9:25 - 12:00 自由論題報告
12:00 - 13:00 休憩
13:00 - 15:00 公募シンポジウム
15:00 - 15:10 閉会の辞

—統一論題—

「コミュニケーション・テクノロジーの変化と消費者行動」

石崎徹（専修大学）

数年前になるが、私のゼミでこんなことがあった。次回のゼミから使用する輪読用の文献を指定したら、その場で何人かが一斉にスマホを操作し、ある女子ゼミ生が叫んだ。「アマゾンのUSEDの最安値、私が落したからね！」と。競争に勝ってうれしそうな表情の女子ゼミ生と、一歩先を越されて悔しそうな表情の男子ゼミ生がそこにはいた。まるでラフォーレ原宿のバーゲンセールでリアルに行われる買物競争が、ゼミ室の中でスマホを通じて行われていることに、当時は軽い衝撃を受けたものだ。

この時の経験が、コミュニケーション・テクノロジーやコミュニケーション・デバイスの変化、進展と消費者行動研究との関係に興味を抱くきっかけとなったのである。いつの間にか私のスマホの画面も様々な買物関係のアプリだらけとなっていて、電車の中で買物を済ませたり、友人との会話で話題となった製品を検索して、その場で「ポチッ」と衝動買いしていたりする。

このようなとても素朴で日常的な経験から、今回の「コミュニケーション・テクノロジーの変化と消費者行動」を統一論題として設定した。それでは改めて統一論題の趣旨について述べてみよう。

コミュニケーション・テクノロジーの変化、特にスマートフォンなどのデバイスの普及、それにともなう様々なアプリの開発、SNSを活用したマーケティングなどが人々の消費生活に大きな影響を及ぼしている。

たとえば、PCサイト経由のオンラインショッピングとアプリを活用したオンラインショッピングとでは、購買意思決定への関与やプロセスのスピード感が異なっているだろう。また、アプリを経由してオンラインとオフラインが融合していることもある。たとえば、アプリに購買情

報やクーポンが配信され、同じアプリがポイントカードの役割を果たす。そのアプリのクーポンをリアル店舗で提示して割引サービスを受け、アプリにポイントをためる。このようなことが今や普通に行われている。

あるいは、オークションサイトでは、BtoC業者が同じ商品をリアル店舗とオークションサイトの双方にデュアルで出品していたり、消費者が購入した商品をオークションサイトに出品し、消費者同士で取引を行うという現象をどのように解明していくのか。

さらに、コミュニケーション・テクノロジーの変化は、消費者間の購買競争も高めている。授業で指示した課題文献を、学生同士がアプリを使ってその場で古書の購入を競っていたこともある。

こうした現象に対してわれわれは消費者行動研究の立場からどのように取り組んでいけばいいのか、議論する機会としたい。

今回はゲストスピーカーとして、タワーレコード(株)オンライン事業本部部長の前田徹哉様、(株)博報堂DYメディアパートナーズ メディア環境研究所客員研究員、関西学院大学社会学部非常勤講師の鈴木雄介様をお招きし、オンラインショッピングとメディアおよび情報消費の観点からご講演を頂く。またパネルディスカッションでは、オムニチャネルの研究をされている亜細亜大学の西原彰宏先生に加わっていただき、統一論題に対して多面的なアプローチによる議論を行っていきたい。

2017 年度国際学会派遣案内

日本消費者行動研究学会では、学会のグローバル化推進の一環として、学会員の海外学会発表（ポスター・セッションを含む）に対する助成を行っています。

海外発表の好機となりますので会員の皆様におかれましては奮ってご応募ください。

申請時につきましては、報告予定でも構いません。

なお、発表が不採択となった場合、助成金は、返還していただくこととなりますので予めご了承ください。

【助成内容】

1. 渡航費 : 上限 20 万円
2. 英文校閲費 : 上限 5 万円

【応募要領】

海外発表助成への応募を明記し、E-mail にてご応募ください。

●E-mail 記載事項：

- ①申請者および発表者全員の氏名（少なくとも1名が会員であれば応募可能です）
- ②申請者および発表者全員の所属先
- ③発表学会名
- ④発表時期（来年度の発表も応募可能です）
- ⑤発表論題

●E-mail 宛先：

jacs@asas.or.jp（日本消費者行動研究学会 事務局宛）

●E-mail 件名：

「JACS 国際学会派遣助成申請__申請者氏名」と記してください。

【応募締切】

2017年9月30日（土）

【採否通知】

国際学会派遣審査委員会にて助成対象者を決定の上、2017年10月中旬（10/20頃）に採否について、事務局より連絡いたします。

【採択者の義務】

1. 報告：

発表の翌年度に行われる消費者行動研究学会にて、採択された発表と同一の論題について報告していただきます。

2. 提出：

発表後1か月以内に、採択者の氏名が記載された「(1)発表学会のプログラム」、「(2)助成内容1：渡航費が明記された書類（注）」、「(3)助成内容2：英文校閲費の領収書」を、すべて事務局宛に提出してください。

（※注：eチケットの控えまたはそれに準ずるもの、PDF等のソフトコピーでも可）

学会費の「銀行振込み」についてのお願い

銀行振込をご利用の場合、大学名や企業名などの「組織名」から入力されますと、振り込みました「個人名」が特定できないというケースが出てきます。「銀行振込」の際には、必ず「個人名」から記入していただきますよう、ご協力をお願い致します。

やむを得ず組織名から（または組織名のみ）の振込人名になる場合は、事務局まで e-mail にてご一報いただきますようお願い致します。

ご所属・ご住所の変更についてのお願い

ご所属やご住所が変更となる際には、必ず JACS 事務局へご連絡ください。お手数ではございますがよろしくお願い致します。

また、「郵便局の振込用紙」に変更箇所を明記されるケースが見受けられますが、手続上、データベースの修正は年 1 回（年度末）となってしまいます。

変更のご連絡は、下記 JACS 事務局までお願い致します。なお、ホームページからご自身で直接、変更可能ですので、是非ご利用ください。

新入会員の募集について

本学会への入会を希望される方は、ホームページから入会申込書をダウンロードの上、必要事項を記入、捺印の上、事務局まで郵送でお送り下さい。

●入会資格

[学会会員]

消費者行動の研究・教育に従事する大学の専任教員、大学院在籍者（在籍経験者を含む）、およびそれに準ずる者（文部省が学術研究団体と認める学会の正会員、大学の非常勤講師としての教歴を有する者、等）。但し、学会会員 2 名の推薦が必要。

[賛助会員]

本学会の趣旨に賛同する法人および個人。

●年会費

[学会会員] 10,000 円

（但し、大学院生は 5,000 円に減免）

[賛助会員] 個人会員 1 口 5,000 円

法人会員 1 口 50,000 円

●日本消費者行動研究学会（JACS）事務局のご案内●

（事務局） 関西学院大学 商学部 須永努研究室
〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155
Email: jacs.assist@gmail.com

（事務取扱） 日本消費者行動研究学会 事務取扱
〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13 小石川アーバン 4F
一般社団法人 学会支援機構内
Tel: 03-5981-6025 Fax: 03-5981-6012 Email: jacs@asas.or.jp

<JACS Website> <http://www.jacs.gr.jp/>